

1. 件 名：日本原子力研究開発機構 新型転換炉原型炉ふげんの事業者防災訓練に関する意見交換及び敦賀地区発災時の機構対策本部体制の見直しについて

2. 日 時：令和2年11月4日 10：00～ 12：00

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

平野室長補佐、落防災専門官、宮地防災専門官、芦田専門職
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部危機管理課 課長 他4名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構より、令和2年10月13日に実施した新型転換炉原型炉ふげんの原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内・社外評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁より、以下の項目について見直すよう伝えた。

- ・訓練結果から抽出した課題が妥当であるかを再度整理すること。
- ・抽出された課題及び対策の記載が抽象的な表現に留まっていることから、まずは、問題点・課題を具体的にすること。
- ・その上で、原因を深掘りするとともに、講じる対策が検証できるか等、原因と対策を具体的に整理すること。
- ・上記を踏まえた今後の原子力災害対応に係る継続的改善については、防災訓練実施結果報告書において、まとめること。

日本原子力研究開発機構から、本日の面談を踏まえて、対応する旨回答があった。

また、日本原子力研究開発機構より、敦賀地区発災時の機構対策本部体制について、見直しを進めており、適切な時期に相談したい旨の説明があった。

原子力規制庁より、敦賀地区発災時の機構対策本部体制の見直しにおいては、検討している体制案について、メリット及びデメリットを整理するよう伝えた。

日本原子力研究開発機構から、本日の面談を踏まえて、対応する旨回

答があった。

6. その他

配布資料：資料1 令和2年度 新型転換炉原型炉ふげん防災訓練
(10/13)における課題対応について